

平成25年度 学校経営の改革方針

三重県立いなべ総合学園高等学校

I 目指す学校像(基本理念)

自主自律のもと「生徒一人一人の能力の伸長」と「教職員の達成感」を常に追い求め、地域の人々に信頼される学校を目指します。

《 本校の指導指針 「時を守り、場を清め、礼を正す」 》

II 現状と課題

- 1 北勢地域唯一の総合学科高校として12年間歩んできた成果を踏まえ、本校独自の学びのシステムについて検証し、一段の飛躍を目指す必要があります。
- 2 多様な生徒のニーズに対応し170科目以上の授業を開設していますが、きめ細かい学習指導を通してさらに生徒の学力向上を目指すとともに、生徒の学習習慣の確立や学習意欲の向上に向けて引き続き着実な取り組みが求められています。
- 3 「産業社会と人間」、「IVYタイム」等の授業を通してキャリア教育を体系的に進め、生徒自らの主体的な進路選択を実現していますが、近年の厳しい社会情勢や環境の変化に対応できるよう、情報の共有化とガイダンス機能の強化など個々の生徒支援体制を確立する必要があります。
- 4 明るく挨拶を交わせる生徒が多いなかで、基本的な生活習慣や規範意識が弱い生徒も見受けられ、保護者・地域との連携のもとに全職員で粘り強く指導するとともに、幅広い分野で積極的に人権教育を進める必要があります。
- 5 恵まれた設備のもと、生徒の健全育成と学校活性化に大きな役割を果たす部活動は、各部とも様々な場面で活躍しています。さらなる活性化を目指します。
- 6 地域に開かれた学校として公開講座を開催しています。授業公開など今後も幅広い活動を通じて地域の期待に応えていく必要があります。

III 中長期的な重点目標

- 1 多様な個性や進路希望を持つ生徒一人一人の自己実現のために、総合学科の特性を生かしたきめ細かい学習指導を行い、生徒の学習習慣の確立と学力の向上に向けて着実な取り組みを行います。
- 2 生徒一人一人の基本的な生活習慣や規範意識のより一層の確立を目指して、保護者・地域との連携のもと、全職員で粘り強く指導を実施していきます。
- 3 生徒の健全育成にむけて、運動部・文化部・生徒会活動の一層の活性化を図るとともに、自ら主体的で健康な生活ができる力やものを大切にする心の育成をはかります。
- 4 北勢地域唯一の総合学科高校として、新教育課程のもと一段の飛躍を目指すとともに、学校経営の改善を通じて組織力の向上に努め、常に地域に開かれた学校として、積極的に地域の生涯学習の拠点としての役割を果たします。
- 5 防災教育を充実し安全・安心な学校を目指すと共に、教職員が働きやすい職場を目指し改善を図ります。

IV 本年度の行動計画

1 多様な個性や進路希望を持つ生徒一人一人の自己実現のために、総合学科の特性を生かしたきめ細かい学習指導を行い、生徒の学習習慣の確立と学力の向上に向けて着実な取り組みを行います。

(教務)

- (1) 学習習慣を身につけさせ、学習意欲の向上を図る取り組みをすすめ、生徒一人ひとりの学力の底上げ・向上を図ります。
- (2) 各種の検定試験や資格取得を奨励します。
- (3) 新学習指導要領に対応した講座内容について検討します。研究授業や教材の開発などを進め、授業の質の向上に取り組みます。
- (4) 「産業社会と人間」や「I V Yタイム」におけるキャリア教育を通して、進路希望の実現を図ります。

(進路)

- (1) 日々の授業を大切にし、定期考査や実力テストにむけて計画的に学習できるよう指導します。
- (2) 年次と進路が連携して、課外授業・試験対策・問題演習等を計画的に実施します。定期的に課題を提出させるなど、学習習慣の確立に向けた取り組みを進めます。
- (3) 漢字検定や英語検定、商業系の検定等の指導の充実を図り、資格取得への挑戦を奨励します。
- (4) 進路指導室の活用を奨励すると共に、進路指導部・キャリアが連携して社会人講話なガイダンスの質を高め、各種の情報提供に努めます。進路ガイダンス・保護者会・各種通信文などを通して、生徒・保護者との連携を図ります。
- (5) 進学に関しては、個々の生徒の学力に応じた受験までを見通した指導を行い、センター試験受験者70名以上、国公立大学受験延べ20名以上、合格10名以上をめざします。
- (6) 就職に関しては、挨拶とマナー・服装に気をつけ、コミュニケーション能力と基礎学力を身につけさせ、特に面接指導の充実を図り、学校推薦就職内定100%をめざします。

(年次)

- (1) 提出物の期限厳守の徹底などにより家庭学習の習慣化を図り、基礎学力の定着を図ります。
- (2) 生徒の長所をのばし、能力に応じた幅広い指導の工夫に努め、一人一人の学力向上を図ります。
- (3) 学習意欲を高める指導の工夫や雰囲気づくりに取り組みます。課外の充実に取り組みます。「産業社会と人間」や「I V Yタイム」の効果的な活用、シラバスを活用した科目選択、個別面談(年3回以上)などの実施により、生徒一人ひとりの進路意識を高め、確実な目標を持たせ、希望進路の実現を図ります。
- (4) 模試などを効果的に活用し、四年制大学進学志望者を増やします。

(図書)

- (1) 図書館の有効利用を推進します。(年間図書貸出冊数5000冊以上)
- (2) 授業等における「調べ学習の場」として図書館活用の機会を増やします。
- (3) 図書館に進路の特設コーナーを設置し、資料収集に努めます。

2 生徒一人一人の基本的な生活習慣や規範意識のより一層の確立を目指して、保護者・地域との連携のもと、全職員で粘り強く指導を実施していきます。

(生徒指導)

- (1) 全教職員の指導により、生徒一人一人の基本的な生活習慣の確立に努め、社会人としての常識を身に付けさせます。
 - ・ 規則正しい学校生活を送り、遅刻・欠席者数の減少を目指すと共に、規則・時間を守る指導を徹底して行います。
 - ・ 「時を守り、場を清め、礼を正す」の精神を浸透させます。
 - ・ 誰とでも自然に挨拶ができるようにします。
- (2) 学校や社会全体のルールを遵守させることにより、規範意識を身につけさせます。
 - ・ 頭髪・服装指導を根気強く行います。
 - ・ 登下校時の自転車の安全運転指導など交通マナーの向上を図り、交通事故の防止を図ります。
 - ・ 学年主任と生徒指導主任との定期的な連絡会議を行うなど、各部・各学年と連携を密にして指導します。

(別紙様式)

- (3) 人権意識を高め、協調性をそだてます。
- ・ 特別支援、教育相談などとの連携・協力体制を整えます。

(進路)

- (1) 授業の始業時、職員室等への入室等において、挨拶やマナーの指導、服装指導などを行い、社会人として必要なマナーを身につけさせます。

(年次)

- (1) 基本的な生活習慣と規範意識の確立をめざします。
- ・ 規則を守り、時間を守る習慣を定着させます。(5分前集合をめざす)
 - ・ 服装、挨拶指導の徹底を図ります。
- (2) HRや行事などの集団活動を通じて、生徒相互の人間関係の育成を図ります。
- (3) 年3回の人権学習を通じて、生徒の人権意識を高め、自主自律の精神を育てます。

3 生徒の健全育成にむけて、運動部・文化部・生徒会活動の一層の活性化を図るとともに、自ら主体的で健康な生活ができる力やものを大切に育む心をはかります。

(年次・特別活動)

- (1) 学校行事や部活動を通して、根気強くやり抜く意思や態度、そして自己と他者を互いに高めあう生徒相互の人間関係の育成を図ります。
- (2) 生徒会を模範的組織として機能させ、行事の実施とその情報伝達等自主的活動能力の向上を図ります。

(保健)

- (1) 生徒自らが健康の管理できるように、健康を守るための知識が得られるよう、定期的に保健通信を発行します。
- (2) 学年等と協力して、ゴミの分別への啓蒙活動に取り組み、定着を図ります。
- (3) 日常の積極的な清掃活動の推進を図るとともに、保健環境委員会活動を通じて環境美化の活性化を図ります。
- (4) タバコやドラッグ、H I Vなどについて課題研究を行い、つたわかば祭で展示し問題意識を高めます。
- (5) 保健部と教育相談が連携し、心の悩みのある生徒の指導に努めます。

4 北勢地域唯一の総合学科高校として、新教育課程のもと一段の飛躍を目指すとともに、学校経営の改善を通じて組織力の向上に努め、常に地域に開かれた学校として、積極的に地域の生涯学習の拠点としての役割を果たします。

(総務・情報)

- (1) 学校への理解と信頼を深めるため、保護者・地域に向けて積極的な情報発信に努めます。
- ・ 学校案内、ポスター、I V Y通信の内容、HP等の充実を図ると共に、保護者会等あらゆる機会を通じて情報公開・情報発信を積極的に行う。学校HPについては毎月更新を図ります。
 - ・ 進路情報の公開に向けて、進路説明保護者会への参加者数8割以上を目指すことにより、家庭と連携を取りながら保護者との信頼関係の構築を図ります。
 - ・ 絆ネットの生徒や保護者登録率を90%以上とし、学校行事や緊急連絡等の発信を行います。
 - ・ 夏季学校説明会で参加数800人を目指すと共に、学校説明会の効果をアンケートにより確認します。
 - ・ 秋季学校説明会で模擬授業を実施し、中学生に本校への関心を高めます。
- (2) 地域の高等学校として、積極的に地域とつながり、地域開放を図ります。
- ・ 保護者の進路指導室利用促進にむけて、保護者会で案内していきます。
 - ・ 各学年毎に生徒全員により学校周辺の校外清掃を行います。
 - ・ 「学びのプラザ」を年間を通して開講し、受講者数の増加を目指します。

(進路)

- (1) 北勢地区唯一の総合学科高校として、新学習指導要領に合わせ新教育課程の編成にむけた大学入試に関する情報収集に努めます。

(情報)

- (1) 情報インフラの安全性を高め、セキュリティと情報管理の強化を図ります。

(別紙様式)

- (2) 校内情報メディアの研修会を行い、ネットワークの安定稼動と個人情報保護などの情報関連意識の向上を図ります。
- (3) 新校務システムの運用体制や他のマニュアル作成を進めます。

5 防災教育を充実し安全・安心な学校を目指すと共に、教職員が働きやすい職場を目指し改善を図ります。

- (1) 様々な危機に対応できる体制の強化と充実に努め、安全・安心な学校づくりに努めます。
 - ・防災ノートを活用し、自分の命は自分で守る防災教育を行う。また、有事を想定した防災訓練を実施します。
 - ・生徒の安全を守るため、緊急地震速報の確認とともに第1次避難から第2次避難等を安全に実施できるようにします。
 - ・各年次や分掌が連携し、さまざまな場面で障害を持つ生徒等への配慮や教育相談に努めます。
- (2) 教職員の健康管理について、意識の向上を図ります。
 - ・会議の効率化等を図ると共に、過重な労働や総勤務時間の縮減化に向けて様々な場で検討し、改善点を見いだしていきます。